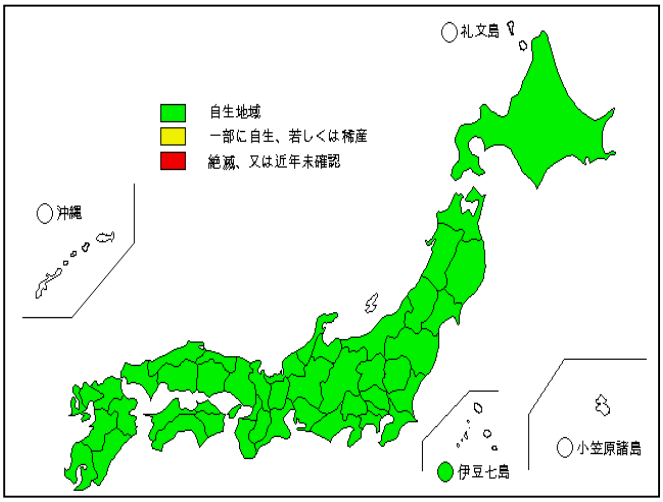
#235

ネジバナ（モジズリ）

Spiranthes sinensis

ネジバナの花。螺旋状に咲く姿が面白いランです（愛知県東三河　09.7/5）

沖縄を除く全国の明るい草原や芝生に自生します。ラン科の中では珍しく民家の芝生の中にも好んで自生するほど身近でたくましい蘭です。このためしばしば雑草扱いされ軽視されがちですが、よく見ると一つ一つが立派に「ランの花」であり、らせん状に咲かせる姿も美しく、観賞価値は高いです。芝生は定期的に刈られるため、他の植物が大きくならず十分な日照が確保されることと、芝生の持つ保水力により非常に本種に適した自生環境になっています。 ほんとにどこにでも見られる蘭ですが、同じ植物群の中でも個体差が激しく、花色は桃色を基調に濃紅色～純白（完全な白は珍しい）と変化が豊富で、よくねじれるタイプや全くねじれないタイプ、まばらに花をつけるタイプなど様々で面白いです。特に斑入り種や狂い咲きなどの奇形種は「小町蘭」と呼ばれ古くから好んで栽培され、愛好家の間で一株づつ大切に育てられています。草姿は数枚の濃い緑の葉と太く短い根が特徴的です。冬場は葉をロゼッタ状に展開し、寒風から身を護ります。雪の下でも平気です。



全国の草地に自生します。

芝生での自生（愛知県東三河　09.6/17）

入手は容易です。たまに野草としてお店にも並びますが、近所の原っぱや土手に生えていますのでお好きな株を取ってきたほうが早いです。本来盗掘はご法度ですが、本種に限っては採集量より自然増殖量のほうが圧倒的に勝っているので問題ありません。 但し栽培は意外と神経質で、ただ植えるだけだと自然消滅してしまうことも多いようです。共生菌の環境が問題と思われますので、芝生で植えたりコケなどに植え込むと成功率が高いです。実生繁殖も容易で、播いてもいない鉢から勝手に生えてくることがあります。ご家庭に芝生があれば、そこに生えているのを見守るのが一番だと思います。 近縁種には、奄美大島以南、沖縄に自生する花茎に毛がないタイプのナンゴクネジバナと、アメリカ原産で大型で白花のアメリカモジズリ（ウォーターオーキッド）などがあります。ミヤマモジズリという蘭もありますが、これはネジバナの仲間ではなくテガタチドリの仲間です。

Document and photo by LittleFlower 2009

綺麗にねじれるタイプ（愛知県東三河　09.7/4）

まったくねじれないタイプ（愛知県東三河　09.7/4）

濃紅色のタイプ（愛知県東三河　09.7/4）

桃色のタイプ（愛知県東三河　09.7/4）

純白のタイプ（愛知県東三河　09.7/4）

草地での群落（愛知県東三河　09.7/4）

Document and photo by LittleFlower 2009